

## 久留米市役所エコアクションプランの取り組みについて

### 1. 久留米市役所エコアクションプランについて

久留米市では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、市の事務事業に伴い発生するエネルギー起源の温室効果ガスの抑制を目的とした「久留米市役所エコアクションプラン」を平成 24 年 8 月に策定しました。

同プランに基づき、節電やコピー用紙削減等のエコオフィス活動を実施し、エネルギーの使用量や温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。

### 2. 目標

久留米市役所エコアクションプランでは、計画期間である平成 24～26 年度の 3 か年で、市の事務事業に伴って発生するエネルギーの使用量及び温室効果ガス排出量の削減目標を次のように設定しています。

なお、計画期間は平成 26 年度までとなっていますが、現在、地球温暖化対策実行計画を改定中のため、当面は従来の目標を引き継いで取り組んでいます。

#### (1) エネルギー使用量削減目標

項 目		数値目標（使用量等）
省資源・ 省エネルギー の推進	電気	平成 22 年度比で、平成 26 年度までに 15%削減
	ガス	平成 22 年度比で、平成 26 年度までに 8%削減
	水道	平成 22 年度比で、平成 26 年度までに 8%削減
	コピー用紙	平成 22 年度比で、平成 26 年度までに 8%削減
	公用車燃料	平成 22 年度比で、平成 26 年度までに 8%削減
ごみ減量・リサ イクルの推進	廃棄物排出量	平成 22 年度比で、平成 26 年度までに 8%削減

#### (2) 温室効果ガス排出削減目標

項 目		数値目標（使用量等）
エネルギー使用等に伴う 温室効果ガス排出量		平成 22 年度比で、平成 26 年度までに 6%削減
その他の 温室効果ガス 排出量	一般廃棄物焼却に伴う 温室効果ガス排出量	平成 22 年度比で、平成 26 年度までに 0.5%削減
	下水処理等に伴う 温室効果ガス排出量	平成 22 年度比で、平成 26 年度までに 6.7%増加に 留める

### 3. 市の事務事業に伴うエネルギー等の使用量実績

市の事務事業に伴うエネルギー等使用量は、6つの区分で基準年度比での目標を定めています。

平成28年度は、液化石油ガス（LPG）・水道・公用車燃料（ガソリン・軽油・天然ガス）・ごみ（可燃及び不燃）袋使用量で削減目標を達成しています。

削減目標を達成できていない項目は

- ① 電気・都市ガス
- ② コピー用紙の使用量 です。

① 電気使用量は基準年度比 13.5%減少、都市ガス使用量は基準年度比 5.3%の減少にとどまっています。久留米シティプラザが開業（H28）し、市民サービスの向上に寄与したものの、電力使用量が増加したことが主な原因と考えられます。

② コピー用紙の使用枚数は基準年度比 2%増加しています。各課の使用枚数把握のために平成25年度に導入したコピー機カードの活用や、裏紙利用・両面コピー・※2in1印刷等の実施徹底を図り使用枚数の減少に努めたものの、競輪事業における全国的なイベントや参議院選挙及び衆議院補欠選挙の実施などが、増加の主な原因と考えられます。

※2 in 1 印刷…1枚の用紙に原稿を縮小して2枚分の原稿を印刷する方法

久留米市役所の事務事業に伴うエネルギー等使用量

項目	単位	計画期間						計画延長期間					目標 (H22)比		
		H22年度 (基準年度)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	基準年度 (H22)比	達成・ 未達成 の別	H27年度	H28年度	基準年度 (H22)比	達成・ 未達成 の別		前年度 (H27)比	
電気	kwh	33,256,347	28,771,917	24,346,600	23,990,623	24,882,033	-25.2%	○	25,416,864	28,751,682	-13.5%	×	13.1%	-15%	
ガス	都市ガス 13A	m <sup>3</sup>	566,765	517,223	527,391	535,249	497,610	-12.2%	○	488,672	536,987	-5.3%	×	9.9%	-8%
	液化石油ガス(LPG)	m <sup>3</sup>	64,345	61,885	64,701	68,719	63,710	-1.0%	×	61,228	49,400	-23.2%	○	-19.3%	
水道	m <sup>3</sup>	176,941	168,982	163,027	156,220	151,210	-14.5%	○	158,219	125,346	-29.2%	○	-20.8%		
コピー用紙使用枚数(A4換算)	枚	25,560,730	23,774,989	24,365,005	24,156,179	26,766,243	4.7%	×	24,723,241	26,078,951	2.0%	×	5.5%		
公用車燃料	ガソリン	L	139,541	125,301	145,804	130,872	124,900	-10.5%	○	125,207	111,512	-20.1%	○	-10.9%	-8%
	軽油	L	82,552	70,825	77,476	49,396	39,897	-51.7%	○	16,680	19,520	-76.4%	○	17.0%	
	天然ガス(LNG)	m <sup>3</sup>	20,768	20,323	19,754	9,299	10,014	-51.8%	○	9,469	6,721	-67.6%	○	-29.0%	
ごみ	可燃ごみ袋	枚	38,053	35,535	38,851	35,010	35,616	-6.4%	×	33,500	31,590	-17.0%	○	-5.7%	
	不燃ごみ袋	枚	2,268	2,162	2,331	496	334	-85.3%	○	394	368	-83.8%	○	-6.6%	

#### 4. 市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量

市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量は、3つの区分で基準年度比での目標を定めています。

平成28年度は、「下水処理等に伴う温室効果ガス排出量」で削減目標を達成しています。

削減目標を達成できていない項目は

- ① エネルギー使用等に伴う温室効果ガス排出量
- ② 一般廃棄物焼却に伴う温室効果ガス排出量 です。

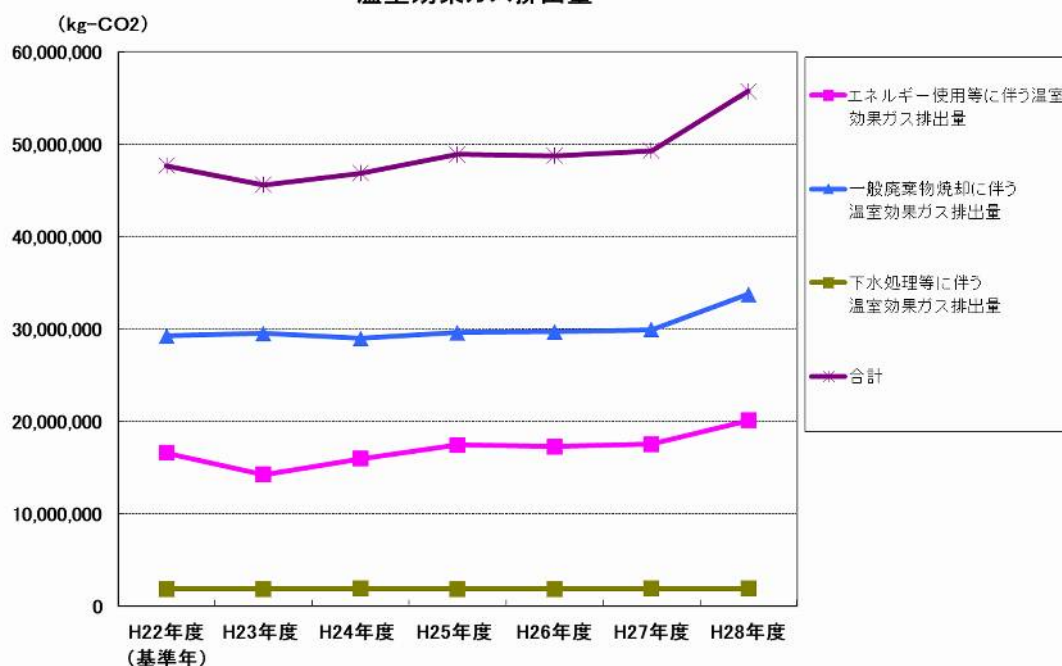
① エネルギー使用等に伴う温室効果ガス排出量は基準年度比21.2%増加しています。久留米シティプラザが開業（H28）し、市民サービスの向上に寄与したものの、エネルギー使用量が増加したことが主な原因と考えられます。

② 一般廃棄物焼却に伴う温室効果ガス排出量は基準年度比15.4%増加しています。一般ごみ焼却量の増加が原因です。

久留米市役所の事務事業に伴う温室効果ガス排出量

区分	単位	計画期間						計画延長期間					目標 (H22)比	
		H22年度 (基準年)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	基準年度 (H22)比	達成・ 未達成 の別	H27年度	H28年度	基準年度 (H22)比	達成・ 未達成 の別		前年度 (H27)比
エネルギー使用等に伴う温室効果ガス排出量	kg-CO <sub>2</sub>	16,592,505	14,226,576	15,976,908	17,450,970	17,246,649	3.9%	×	17,525,414	20,105,676	21.2%	×	14.7%	-6.0%
一般廃棄物焼却に伴う温室効果ガス排出量		29,241,999	29,498,872	28,999,162	29,604,642	29,707,561	1.6%	×	29,925,741	33,759,352	15.4%	×	12.8%	-0.5%
下水処理等に伴う温室効果ガス排出量		1,856,437	1,866,179	1,902,739	1,828,322	1,834,289	-1.2%	○	1,876,289	1,904,759	2.6%	○	1.5%	6.7%
合計		47,690,941	45,591,627	46,878,809	48,883,934	48,788,499	2.3%	△	49,327,444	55,769,787	16.9%	△	1.1%	-

温室効果ガス排出量



## 5. 環境配慮活動の実施状況

「久留米市役所エコアクションプラン」に基づき、環境配慮活動に取り組んでいます。  
平成 28 年度の取り組み状況は以下のとおりです。

項目	目標（平成 24～26 年度）	達成状況	
省資源・省エネルギーの推進	節電等 取組実施率 50%以上	97%	達成
グリーン購入の推進	実施率 50%以上（適合品目数/購入品目数）	70%	達成
環境に配慮した公共工事の推進	実施率 100%の維持（適合件数/総件数）	100%	達成

### （1）省資源・省エネルギーの推進

#### ① エコオフィス活動

省エネルギーの取り組みとして「冷暖房効率の向上（温度設定、ドア開閉等）」「不要な照明の消灯」「離席者等のパソコン節電」「終業時間後や昼休みの一斉消灯」「ノー残業デー」等を実施しています。

取り組み状況は概ね良好（全体で 97%）でしたが、「ノー残業デー」については、業務の都合上実施が難しかった部局が多く、徹底できませんでした。

#### ② コピー用紙

平成 28 年度の使用量実績は、市全体で合計 26,078,951 枚でした。前年度と比べると、5%（1,355,710 枚）増加しています。

競輪事業における全国的なイベント、保育料の改定、参議院選挙及び衆議院補欠選挙の実施、学校における新規事業や既存事業の拡充などが主な原因と考えられます。

### （2）グリーン購入の推進

各部で購入する物品について、再生品や詰替品などの環境に配慮した製品を優先的に選択する取り組みを実施しています。対象は、単価契約以外の紙・文房具及び印刷物の発注です。  
結果は、市全体で達成率 70%と目標を達成しています。

### （3）環境に配慮した公共工事の推進

市が発注する土木工事及び建築工事、設備工事等について、緑化・省エネルギー・クリーンエネルギーの利用・廃棄物の減量など、環境に配慮した取り組みを実施しています。  
取り組み状況は、全ての工事で環境に配慮した施工ができており、達成率は 100%でした。

## 総括

平成 28 年度は、エコオフィス活動、環境に配慮した公共工事については、前年度と比べて横ばい、若しくは向上しており、概ね良好でした。しかし、コピー用紙の使用量は、保育料の改定や衆議院補欠選挙の実施など、想定外の業務が発生したことにより、使用枚数が増加しています。

業務量が増えることにより、コピー用紙の使用枚数が増えてしまうのは止むを得ない部分も大きいですが、この増加の事実を受けとめ、裏紙利用、両面コピー、ツーインワンコピー等の活用を徹底するよう、内部環境監査等の機会を利用して、重ねて周知・徹底に努めます。

今後も、職員を対象とした環境研修や内部環境監査を実施し、点検・評価を行ない、市ホームページ等で公表することで、職員の環境配慮意識のさらなる向上を図っていきます。